

**グリーンテクノバンク・シンポジウム**  
**「地球温暖化と北海道農業」～水資源の動向と活用～**  
**開催要領**

**趣旨**

水は生命の存続にとって根源的なものであることは言うまでもなく、農業を始めとする各種の産業や人間生活にとっても不可欠であるが、地球温暖化の進行にともなって遠くない将来に人類は深刻な水不足と食糧不足に直面する可能性が大きいと地球環境学者レスター・ブラウンは警告している。

日本は年降水量が 1600mm と水資源には恵まれている国ではあるが、気象庁による過去 100 年間の解析では長期的な減少傾向が見られる一方、地域気候モデルによるシミュレーションでは降水量の年変動は大きくなり極端な大雨や渇水の出現が予測されている。また道内でも冬期間の降水量や積雪分布に変化が見られるなど、水資源の今後の動向が注目されている。これまで3回にわたって開催したシンポジウムでは温暖化の実態と農業との関わりを考えるとともに、温暖化の防止のために自然エネルギーの積極的な利用に向けて、産官学の一層の連携が求められた。以上のことを踏まえて今回は、古くからの身近な自然エネルギーである水資源を改めて見直すとともに、その動向と影響および有限な資源としての水の効率的な利活用技術について検討し、論議する場として本シンポジウムを開催する。

**開催日時** 2009年12月10日(木)、13時～16時30分

**開催場所** 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目、電話:011-706-2141)

**予定参加人数** 250名

**参加費** 無料

**主催** NPO 法人グリーンテクノバンク

**共催** 独立行政法人農研機構(北海道農研センター、生物系特定産業技術研究支援センター)  
日本気象協会北海道支社、

**後援** 北海道開発局、北海道、北海道大学大学院農学研究院、独立行政法人土木研究所寒地土木研究所、北海道土地改良事業団体連合会、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道新聞社、日本農業新聞北海道支所、北海道協同組合通信社、NHK 札幌放送局、HBC 北海道放送、札幌テレビ放送、Tvh テレビ北海道

**(1) 開会挨拶(13:00)**

主催者: 上田 一郎 NPO 法人グリーンテクノバンク 会長

来賓: 眞野 弘 北海道土地改良事業団体連合会 会長

**(2) 講演(13:10-14:45)**

講演座長: 桃野 寛 北海道立道南農業試験場 場長

**1) 地球温暖化に伴う農業用水の収支予測**

斎藤 正美 日本気象協会北海道支社 防災・環境事業課長

**2) 省資源型かんがい技術の開発と実用化**

青山 龍太 (株)イーエス・ウォーターネット札幌営業所長代理

**3) 小水力発電の現状と今後の展望**

後藤 眞宏 農村工学研究所施設資源部 上席研究員

**(3) 総合討論(15:00-16:25)**

**「北海道における水資源の動向と活用」**

コーディネーター: 秀島 好昭 寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長

パネリスト: 来賓、座長、講演者及び 木村 秀雄(北海道農政部技術普及課長)

泉井 清志(清里町農場経営者)

**(4) 閉会挨拶**

共催代表: 日本気象協会北海道支社長 若林 孝

交流会(17:30-19:00)